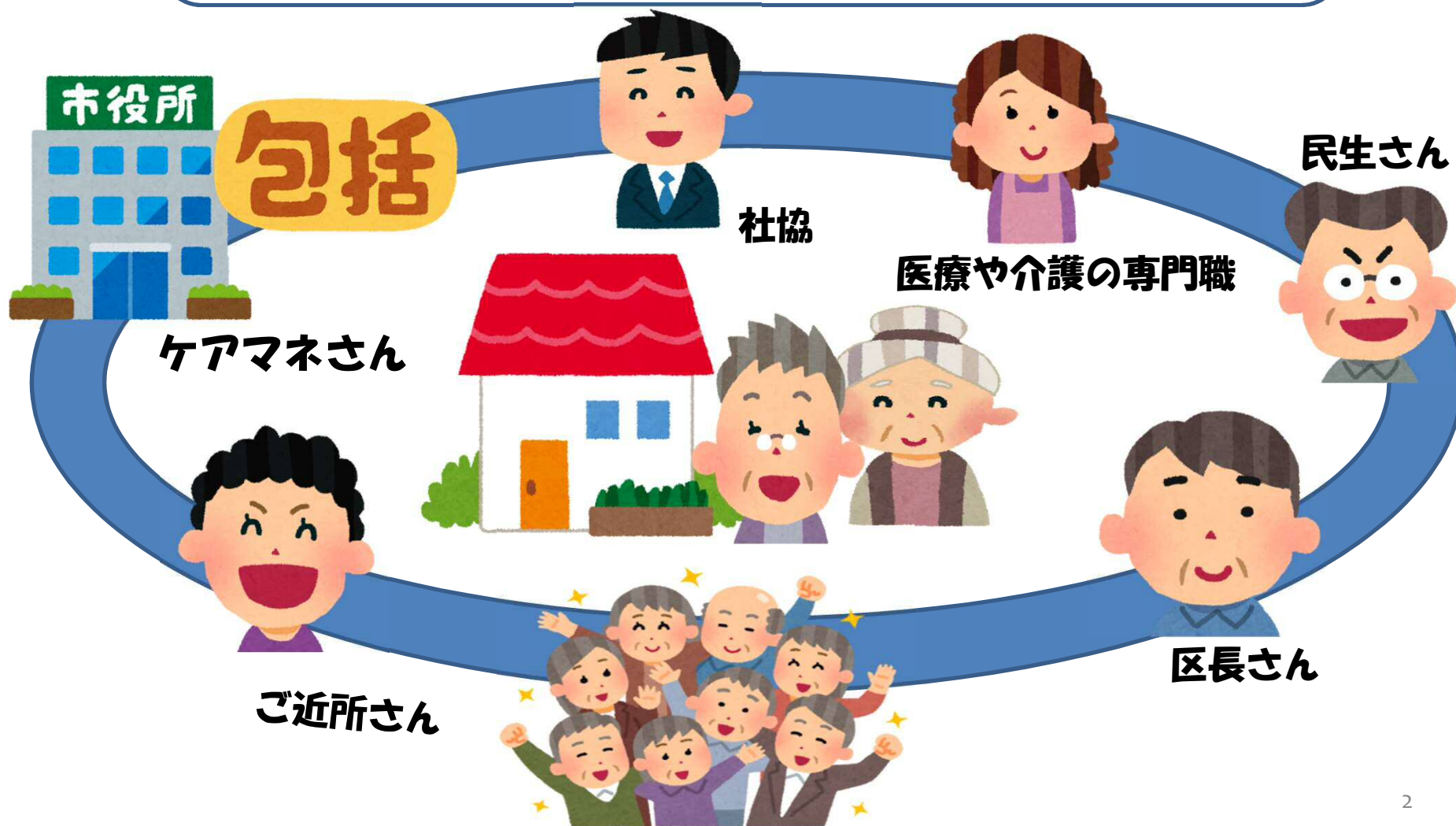


高齢者の生活支援について



地域で支えあうことで在宅生活を継続



生活支援サポーターは 高齢者の暮らしの手助けを する活動です！

できる人が

できることを

できるときに

ちょっとした手助けがあれば、地域で安心して暮らせる



家の中の掃除・
ゴミ出し



調理の
手伝い



話し相手

買いもの

(令和元年4月～令和2年1月末)
依頼会員 実依頼32名
協力会員 実活動20名

生活支援サポーターの仕組み

介護ファミリーサポートセンターの仕組み



利用時間	報酬額
平日午前8時から午後6時まで	30分当たり 250円

生活支援サポーターの 現在の課題について



- ニーズに対応できるように、活動できるサポーターを増やすことが必要。
依頼された会員は32名で、活動された協力会員は20名
(令和元年4月～令和2年1月末)
- 養成講座は受講するが、登録までいかない。
(理由) 活動しなくても情報や知識としてほしい。
仕事を始めるため活動できない。
家族の介護など手一杯で余裕がない。
令和元年度の受講者数13名 → 新規生活支援サポーター
登録者数4名
(令和元年1月末時点)

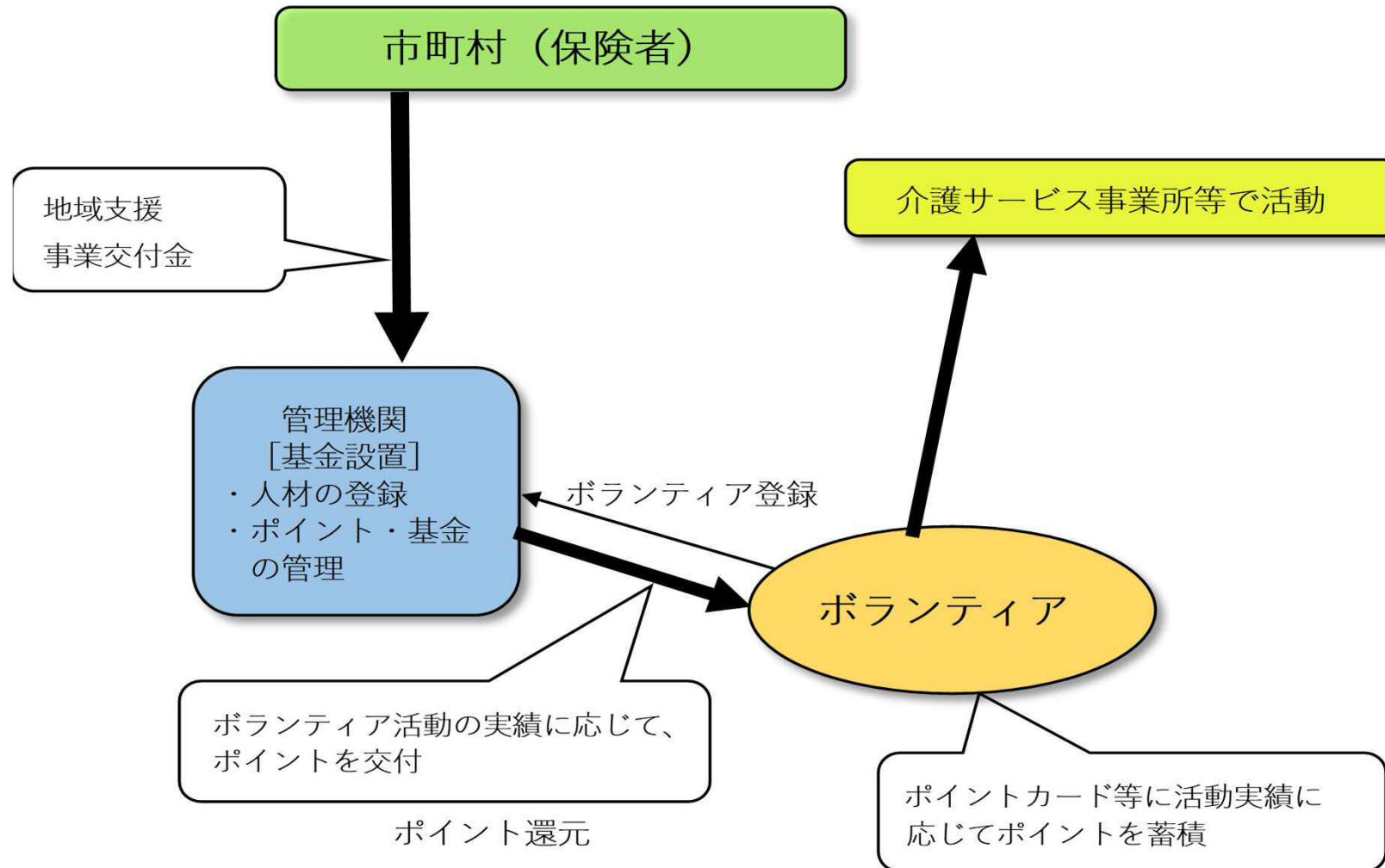


今後の取組として、活動へつながるサポートが大切
(過去に受講された方も含めて、活動への声かけや研修等)

★第7期 日常生活圏域ニーズ調査結果より

「地域のふれあいサロン等の手伝いをする（18.5%）」や「施設入所者と交流したり、施設の手伝いをする（10.8%）」といったボランティア活動への参加意向がやや多くなっている。

ボランティアポイント イメージ図



事業所でのボランティア依頼の状況

事業所	頻度	時間	内容	きっかけ	課題、困りごと	よかったこと
A	3回/週	2時間/回	レク活動のサポート等や声かけ 活動の説明、補助 3名の方の登録あり		特になし 人数も足りている	気がついて、よく声をかけてくださる。スタッフが忙しいときは、洗髪後のドライヤーやお茶を入れるなどの手伝いもしていただいた。
B	4回/週	午前3時間程度	話し相手 洗濯を干す お茶を出す 洗髪後のドライヤー 入口のお掃除 花壇の手入れ 声かけ	ボランティア団体による活動。元々は地区民生委員より自主的にスタート。今は民生委員に限らず、声掛けにより登録。15名程度。会長がシフトを組んで、年間のスタッフ配置をしている。声がかかれば市内の事業者での活動あり。 自主的にボランティアをされている方1名あり(市職員のつなぎ)	悪気なく利用者に不快な声かけをしてしまう場合があった。 水分補給を自己判断で勧めることあり。 →職員のフォローあり。	細やかに環境整備から、声掛けまで職員が目が届かないところまでサポートいただき大変助かっている。
C	2回/週 月・金 各1名	9:30~ 12:00	入浴後のドライヤーで髪を乾かしたり 水分補給等	利用者の増加に伴い、事務局へ手伝ってくれる方がいないか、問い合わせをされた	月曜日の担当は、4年くらい前から 金曜日の担当は、3年くらい前から	同じ方にきてもらっている ので、安心感がある 長いので職員のフォローはない
D	たまに		サークルの披露程度			

ボランティアポイント 他市町村事例

市町村	
【小野市】 健康課 シニア活躍推進課	【おのアクティブポイント】 (対象)60歳以上の市民 ・社会福祉協議会(給食調理・配食、介護・育児ファミサポ)、市指定の介護・障害福祉事業所・病院・保育所・学校等でのボランティア参加 ・1回30分以上のボランティア活動、有償ボランティアも対象 ・ポイント単位で景品と交換
【三木市】 社会福祉協議会 へ委託	【三木市高齢者ボランティアポイント事業】 (対象)65歳以上の市民 ・市指定施設における掃除、洗濯物の整理など軽微で補助的なもの ・1時間1ポイント(1日2ポイント、年間50ポイント上限) ・1ポイント=100円、年間最大5,000円を交付
【赤穂市】 社会福祉協議会 へ委託	【介護支援ボランティアポイント制度】 (対象)65歳以上の市民、要介護1～5の認定を受けていない方 ・市指定施設における配膳等の補助、レクリエーション等の指導及び参加支援、話し相手、移動の補助、話し相手、市が実施する介護予防事業の補助 ・1スタンプ=100ポイント=100円、年間最大5,000円を交付

ボランティアポイント 制度を導入する メリット

ボランティア

- 生きがい、やりがい
- 介護予防の効果
- 目に見えてスタンプがたまる喜び
- コミュニケーションが増える

施設

- 外出やレクリエーションの幅が広がる
- 地域における施設の理解につながる

利用者

- 楽しみや生きがいの増進
- 住み慣れた地域で安心した生活が継続できる

市町村

- 介護予防の意識向上
- 元気な高齢者が増えることによる介護給付費の減少の期待
- 地域とのつながり
- 地域支えあい活動の充実につながる
- ポイントを地域の特産物などにすることで地域の活性化

顔なじみの関係になる さいげない支え合い活動につながります！



支え合い活動の中で誰かに頼られたり、
役割があることは、自分自身の**生きがい**にもなります！
外に出て体を動かすことは、**健康づくり**にもつながります！

ポイント制度実施 市町においての 課題等

- ・新規登録のボランティアや施設が少ない
- ・登録しても体調などの問題で活動のない方がある
- ・したい活動との不一致、相性の不一致がある
- ・ポイント還元のための書類の提出期限が守られない場合がある

ボランティアポイント制度導入についての検討事項

- アンケート調査からボランティア内容の意向確認
- 受け入れ施設との調整
- 研修などの実施について
- 活動の対象者（65歳以上とするか、65歳未満も含めるか）
- 活動場所（施設のみか、在宅も含めるか）
- 活動範囲（シルバー人材センターとの棲み分け）
- 管理機関の決定（社協か市直営、シルバー人材センター等）
- ポイント換金方法（現金か特産物か、上限額、年度末一括、中途換金など）